

第 2 回中間報告書（2025 年 1 月-3 月）

国際ロータリー第 2710 地区

2024-2025 年グローバル補助金奨学生

磯部 由美

1. 基本情報

- 派遣クラブ・カウンセラー：広島安佐 RC・岡本忠文様
- 受入クラブ・カウンセラー：Tower Hamlets RC, Ms. Helen Johnson
- 教育機関：London School of Economics and Political Science
- 所属プログラム：MSc Global Health Policy

2. 学業面での成果

- 履修したモジュールについて

後期は以下の 2 科目を履修しました。これらはそれぞれ高所得国および低・中所得国の文脈に焦点を当てたモジュールであり、異なる保健医療システムの在り方を比較・検討する機会となりました。自身のキャリアの軸は常に開発途上国にありますが、将来的に援助卒業を迎え高所得国へと移行していく過程を見据える中で、保健医療分野における「開発」の持つ意味やあるべき姿を考える上で多くの示唆を得ることができ、非常に有意義な学びとなりました。

- 必修科目：

- Economic Analysis for Health Policy in Low- and Middle-Income Countries

低・中所得国における医療制度をミクロ経済学の視点から分析。医療サービスの需給や制度設計に関する政策課題を、理論と実証研究を用いて検討。

- 選択科目

- Measuring Health System Performance

保健医療制度のパフォーマンスを測定するための枠組み・指標・分析手法を学習。人口の健康、患者アウトカム、公平性、ケアの質と適切性、生産性の 5 側面を中心に、高所得国を主としつつ他国の事例も参照しながら政策的含意を考察。

- 希望者向けに休日終日 2 日間にわたって実施された集中講義「Epidemiology Crash Course」に参加し、University College London の

教授による講義のもと、疫学の基本概念や研究手法（因果関係、リスク評価、介入の効果評価等）について学びました。エビデンスに基づく医療および公衆衛生への理解を深める貴重な機会となりました。

3. 学業面以外での活動

- 後期は前期に授業を集中履修した分、課外の公開講義に充てる時間を確保できました。所属大学院では、外部講師や卒業生を招いた公開講義やネットワーキングイベントが連日開催されており、週に2〜3回は授業後に参加しています。これにより、専攻分野以外の知見の吸収と人脈形成を並行して進めています。



- スピーカーの例：元 BBC の歴史番組のヘッドを務めた Laurence Rees 氏や 2024 年ノーベル経済学賞を受賞した James Alan Robinson 氏などが講義を実施

- 所属する大学院が主催した「LSE Africa Summit 2025」に参加し、アフリカ開発に関わる国内外の専門家・実務者が登壇するセッションを通じて、知見を深めるとともに、ネットワーキングの機会を得ました。



【引き続き参加中】

- 学内には「Global Health Initiative」という研究プラットフォームがあり、その主催するディスカッションやワークショップに積極的に参加しています。最新の研究動向に触れるとともに、グローバルヘルスに関心を持つ多様な背景の参加者との交流を通じて、視野の拡大とネットワークの構築に努めています。

- また、国際機関で活躍する卒業生との交流セッションや、職務経験のある学生を対象としたネットワーキングイベントなどにも積極的に参加し、今後のキャリアに向けた具体的な知見や人脈の形成に努めています。

4. ロータークラブ関連の活動

- 現地ホストクラブの方々とは引き続き定期的にコミュニケーションを取っており、また、他のグローバル補助金奨学生とも日常的に交流を重ねています。共通のテーマに対する大学院ごとの取り扱いや視点の違いに触れることで、自身の視野を広げる貴重な機会となっています。
- ロンドン市内のチャリティ団体において、ホームレスの方々に食事を提供するボランティア活動にも参加しました。活動を通じて、団体スタッフや、同じくボランティアとして参加していたドイツの大学生グループ、ローターアクトの方々との交流も生まれ、地域社会に貢献しながら国際的なつながりを感じられる機会となりました。

5. 今後に向けて

2025 年 5 月から 6 月中旬にかけては試験期間となっており、現在はクラスメートと連携しつつ、各科目の試験に向けた準備を進めております。また、6 月中旬以降に開始される修士論文の本格的な執筆に備え、並行して研究テーマや方法論について担当教員と継続的に協議を重ねております。

6. 終わりに

あっという間に季節が移り変わり、ロンドンにも春が訪れました。冬にはあまり見られなかった晴れの日が続き、街の人々も思い思いに太陽の光を楽しんでいる様子です。

国際ロータリー第 2710 地区、広島安佐ロータリークラブ、そして現地のロータリアンの皆様をはじめ、日頃より多大なるご支援を賜っておりますこと、改めて心より感謝申し上げます。留学生活も終盤に差し掛かってまいりましたが、最後まで充実した学びと経験を重ね、今後も良いご報告ができるよう努めてまいります。

